

MAP-5で 問題発見センサーを磨く

なぜ「改善が定着しない」のか？

弊社のトップセミナーで、「従業員の改善が経営の期待する成果につながらない」、「現場の改善意識を高める打開策が見つからない」など、経営トップから悩みをお聴きする。

その際、「問題と問題点と仕事」の考え方について、頭で理解しているが…の状態なら、まず「納得して行動しやすい状態」にしましょうとアドバイスしている。

現場と現場力

単に「製造職場だけが現場」と思い込み違いしているケースによく出会うが、「企業の組織の最前線はすべて現場」というように価値観をあわせて欲しい。

製造の現場は「あらゆる組織の仕事の結果が集約される最前線」であり、経営の真の実態が問題（現象）としてリア

問題と問題点

- ①問題とは…立てた計画や目標との差異を生む事実や現象（ムダなど）のこと。
- ②問題点とは…問題を起こす原因で、真の原因の多くは現場に潜んでいることが多い。
- ③仕事とは…ムダを見つけて迅速に取り除く（問題点を解決する）こと。

ルに表面化するから、その問題点（原因）に手を打ちやすい。現場第一主義あるいは現場は宝の山などといわれる所以である。

このことから、あらゆる組織における改善力を指して「広義の現場力」と定義している。

現場革新に向けた5段階

VPM (Value Producing Management) は、あらゆるムダに着目して、企業価値を高める弊社独自の経営手法である。

経営に連動した成果につなぐために、現場の事実を直視して、価値を生まない努力は全てムダと捉え、全員参画のムダ排除の取り組みを通じて、従業員の意識を変え、発想を変え、行動を変えながら、人財を活かすことを企業再生支援の

コンセプトとしている。

- ①問題に対する意識を高める。
- ②問題を整理してムダを認識する。
- ③問題解決に導く課題を明確にする。
- ④具体的な現場革新活動を展開する。
- ⑤経営成果への刈り取りを正しく評価する。

改善を定着させる7つのステップ

- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| Step.1 問題があることに気づく(問題意識) | Step.5 モデルを決めてチャレンジする(改善プランの試行) |
| Step.2 問題を解決する気になる(問題点の整理) | Step.6 モデルでの効果をしっかり把握する(改善効果の検証) |
| Step.3 解決後の姿をイメージする(ムダの認識) | Step.7 速やかに拡大展開する(経営成果への刈り取り) |
| Step.4 改善プランを立てる(チャレンジ目標の決定) | |

MAP-5で問題に気づく感度を磨く

仕事とは=あらゆるムダの排除=全員参画の改善という流れで述べてきたが、企業存続のための構造改革の過程で「人財の知恵の継承が分断」されてきた結果、これまでに培ってきた「問題に気づく感度」までも衰えさせたと考えている。

現場力の強かった時代の「知識と知恵の融合」という均衡が崩れ、現場を熟知しないマネジメントのあり方を、知恵

を引き出す本来の現場主義に転換するタイミングである。

MAP-5 (Method for Aware of Problem-5) は、「改善を定着させる7つのステップ Step.1~Step.3」を重点的に強化することをねらいにした、VPMを下支えするプログラムで問題に気づく感度を飛躍的に高めるトレーニング手法としてお薦めする。



問題意識を高める5分間トレーニング法

MAP-5の特色

MAP-5

Method for Aware of Problem-5

企業の
伸長・発展は
「問題発見」から
始まる!

1. 5分間で問題発見するトレーニング

短時間で集中して取り組むトレーニングを繰り返すことで、一人ひとりが日常的問題を意識して発見するように習慣化・定着化が図れます。

2. 他者の気づきに学ぶトレーニング

一人では気づかなかった問題も、グループ作業により発見できることを体験します。他者の目のつけどころや視点に学ぶことにより、問題に対する複眼的な視野が形成されます。

3. 混成チームによるトレーニング

自部門だけではなく、他工程との関連や全社的な視点で問題を考えることにより、個人の業務を越えた問題思考力を養成します。

4. 見えない問題を掘り起こすツール

表面化していない潜在的な問題を見える化し、解決の糸口を上げることができます。



5. あらゆる問題の棚卸で見える化

トップからボトム階層まで、常に問題を共有化して各階層の役割に応じた迅速な問題解決が図れます。

MAP-5 基本プログラム

- 専任コンサルタントが現場で実践指導します。
- トレーニングを通じて「わが社流の改善技能」が根付きます。
- 小グループ(5~8名)混成によるトレーニングです。

	1日目・6時間	2日目・6時間
ねらい	問題の顕在化	問題の棚卸
内容	講義(2時間) ・改善の7つのステップ ・問題意識とムダの認識 ・MAP-5の進め方について	実践演習(5時間) ・ラベル会議で観察メモの整理 ・問題の棚卸方法の指導 ・棚卸表モデルの作成
	実践演習(4時間)	質疑応答(1時間)

※1日目と2日目は、約2週間の間隔を設定いたします。

問合せ先

株式会社テクノ経営総合研究所 ブレイン本部(担当:吉武・小路)
TEL. 06-6910-0861 FAX. 06-6910-5887



テクノ経営総合研究所

ブレインカンパニー
マネジメントコンサルタント 海津 博信

PROFILE

VPMによる企業改革コンサルタントとして多方面で活躍中。現場に密着した実践的な指導で、従業員の意識を変え現場力を強化する熱い指導スタイルに定評がある。